

編 集 後 記

平成21年を振り返って記憶に新しい医療のニュースの筆頭は、4月24日のメキシコの豚インフルエンザの人への感染に始まった新型インフルエンザの猛威であろう。またたく間に日本全土へ拡がり、マスコミの過熱した報道にも振り回され、著者のクリニックでも10月半ばからその対応に追われたうえに、その後遅ればせに始まった新型ワクチン接種に頭を悩ませてようやく今年に入って終結したところで、編集後記を書いている。

今回は総説のサイトメガロウイルス感染症に始まり、WEST症候群、出雲市における症候群サーベイランスなど小児科領域の論文が多く、小児神経学が専門である自分にとってとても興味深く読破した次第である。レンノックス症候群とともに昔から小児の難治てんかんであるWEST症候群は小児神経科医にとって治療に頭を悩ますものであるが、治療までのタイムラグが必ずしも予後と相関しないことも多い。今回の論文での予後不良例は2例ともタイムラグが長かったようであるが、全体として予後良好例が73%と寛解率が高かった要因についても言及していただくとさらに興味深かったのではないかと。開業してから次第に専門学会からも足が遠のき始め、雑誌も積んどくになってきて新しいことがなかなか頭に入りにくく、総説の長寿とカロリー制限は久しぶりに学生時代に戻った気分で頑張っただけでもなかなか理解しにくかったが、人間の体も氷漬け状態にすれば長期生存が可能かもとの期待が持てる話で、さらに解明が進むことを望んでいる。

(H. S)

島根医学編集委員

沖田 瑛一，西野 泰生，錦 織 優，伊藤 是 衛，葛尾 信 弘，
岩本 正 敬，児玉 和 夫，益田 順 一，信太 秀 夫，佐藤 比 登 美，
小林 祥 泰，中山 健 吾，徳島 武

島 根 医 学

平成22年3月31日発行

発行者 島 根 県 医 師 会
濱田市蛭子町
編 集 編集者 沖 田 瑛 一
発行所 松江市学園南2丁目3番11号
有限会社 松 陽 印 刷 所